

地域経済循環創造事業の経過報告について

1 経緯

地域経済循環創造事業について、令和 6 年 12 月 23 日から翌年 2 月 10 日までの間、対象事業の募集を行い、4 件の応募がありました。

そのすべてについて、市の経済循環に資する事業として、総務省との事前相談を経て、令和 7 年 4 月末の総務省指定の申込期限までに提出し、総務省が選任した審査員との意見交換を繰り返し行い 4 件が採択されました。

その後、令和 7 年 8 月 18 日に、1 件辞退の申し出がありましたので、下記の 3 件について初期投資費用を支援し、産官金の連携により地域経済循環の創出に寄与していきます。

2 実施事業

(1) 事業名 伊勢かぐらばマルシェ（仮称）造成事業

事業者名 株式会社海栄館（伊勢かぐらばリゾート 千の杜）

交付金額 24,350 千円（国費 12,175 千円、市費 12,175 千円）

採択日 令和 7 年 6 月 27 日

(2) 事業名 バイオ・フードテックを主とした、スタートアップ・起業支援と地域交流の拠点形成事業『未来を育む複合施設 神社 Cheers（かみやしろチアーズ）』

事業者名 有限会社二軒茶屋餅角屋本店（伊勢角屋麦酒）

交付金額 18,044 千円（国費 9,022 千円、市費 9,022 千円）

採択日 令和 7 年 7 月 18 日

(3) 事業名 伊勢街道の古民家を活用したマイクロブルワリーによる、クラフトビール製造と観光交流拠点整備事業

事業者名 伊勢麦酒株式会社

交付金額 35,000 千円（国費 17,500 千円、市費 17,500 千円）

採択日 令和 7 年 7 月 18 日

ローカル10,000プロジェクト 三重県伊勢市 (1)「伊勢かぐらばマルシェ（仮称）造成事業」

産業建設委員協議会資料 1-2
令和7年8月25日
担当：産業観光部商工労政課

事業背景

- 伊勢市を訪れる観光客の約6割は自家用車・バイクで移動。連休には、交通渋滞が生じ、地域住民の交通移動に支障をきたしている。
- 観光客の大半は、伊勢神宮 外宮・内宮周辺に集中。観光消費額向上の観点から、観光周遊の促進と市内滞在時間の延伸が課題。
- 事業実施地は、市内郊外にあって約64,000坪の広大な敷地に4つの宿泊施設と様々な付帯施設を擁しており、大きな収容力と、新たな人の流れを創り出すポテンシャルを持つ。

取組内容

- 敷地内の一部を改修し、定期的にマルシェを開催できる常設の施設として整備。
- 地域内の農家や工芸品作家など、個人や小規模事業者を含めて多様な出店者を集める。マルシェの出店料は無料とし、若者をはじめ、これからの事業者や制作者を支援するとともに、他にはないラインナップを魅力として地域住民や観光客を呼び込む。
- マルシェ開催による新規顧客獲得、顧客満足度向上といった果実を、同一敷地内の宿におけるリピーター増や日帰り温泉入浴需要増、付帯施設の利用増などにつなげ、利益を高める。



事業実施地



マルシェの展開イメージ



交通イメージ

事業実施者

株式会社海栄館（伊勢かぐらばリゾート 千の杜）

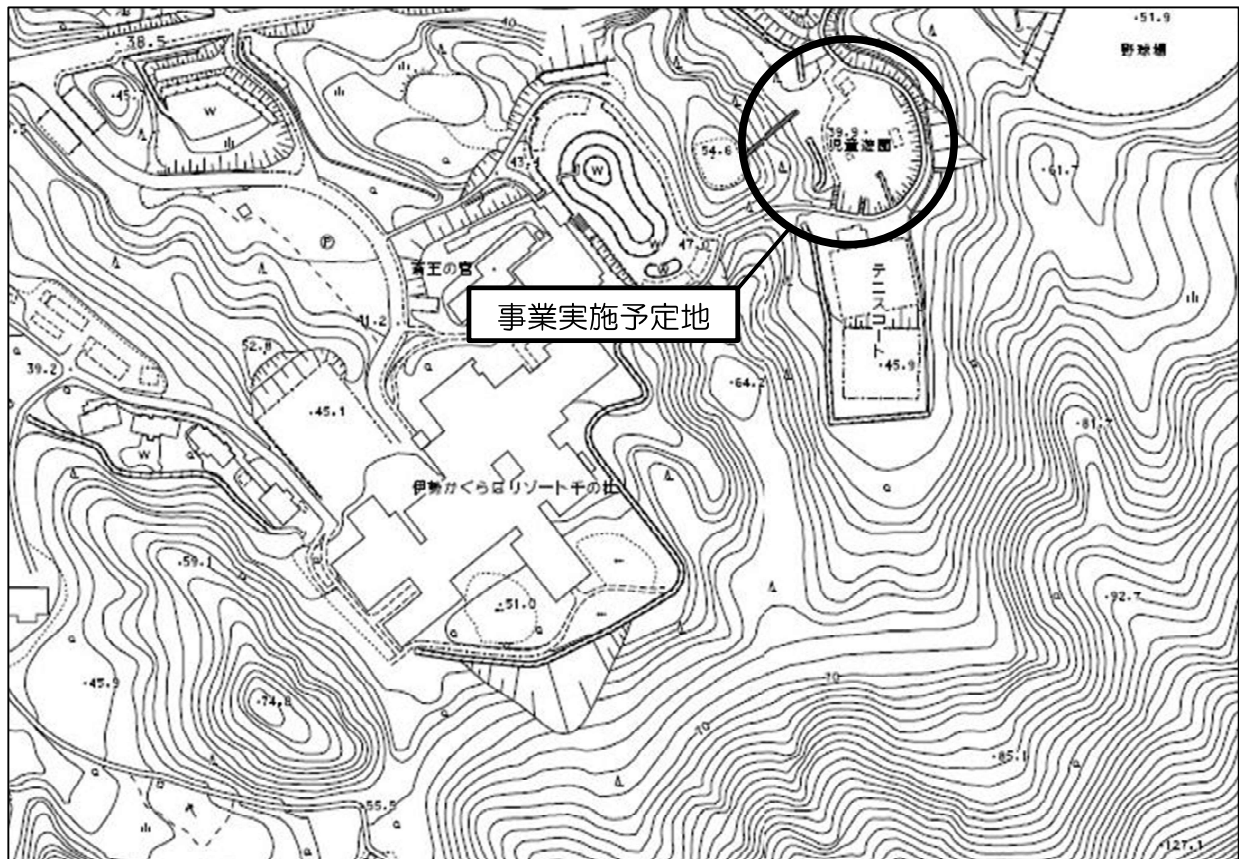
自治体・金融機関の支援内容

- 公費による交付額：24,350千円
国費（地域経済循環創造事業交付金）：12,175千円
地方費：12,175千円
 - 百五銀行による融資：25,000千円
- 【初期投資】施設整備費

地域への貢献

- 定期（スタート時は土日）開催するマルシェにおいて、地域内で生産された野菜・果物や、地元作家による工芸品などを扱い、地域産品の販路拡大につながる。
- 従来の「自家用車で来て伊勢神宮参拝～最寄りのインターチェンジから帰路へ」に対し、「伊勢神宮参拝～マルシェ～郊外のインターチェンジから帰路へ」のルートを生み出すことで、市内の交通渋滞を緩和するとともに、市内滞在時間を延ばし、観光消費額の向上に寄与する。

(1) 伊勢かぐらばマルシェ（仮称）造成事業



ローカル10,000プロジェクト 三重県伊勢市

(2)「バイオ・フードテックを主とした、スタートアップ・起業支援と地域交流の拠点形成事業『未来を育む複合施設 神社Cheers (かみやしろチアーズ)』」

事業背景

- 伊勢市の産業構造は、飲食・宿泊サービス業などの観光関連産業が大きな割合を占めており、観光客の増減に影響されやすいという点で脆弱性を抱えている。
- 市のインキュベーション等施設が、老朽化等の理由からR5年度末で廃止となり、ものづくり系スタートアップ等を支援するための拠点施設が欠けている。
- 事業実施者は、発酵をはじめ、バイオ・フードテック分野の研究開発力を強みとして、クラフトビール事業で国内外に販路を拡大。

取組内容

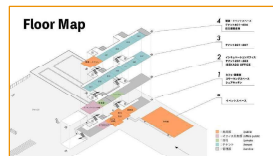
- 廃校を活用し、ラボ（研究室）・商談室・会議室などからなるインキュベーション施設を整備。強みであるバイオ・フードテック分野を軸に、スタートアップや起業家へアドバイス。また、コワーキング施設も整備し、利用者同士の交流やコミュニティづくりを促進。
- ビール製造過程で生じる麦芽粕やきのこと栽培の廃菌床を焼却せずに肥料化（CO2削減）するためのカブトムシの飼育事業や、講演・ワークショップなどの自主事業も展開。
- 産業構造の多角化や、スタートアップによるイノベーション創出につなげ、産業の強靱化を図る。



旧・神社(かみやしろ)小学校



コワーキングスペース



フロアマップ

事業実施者

有限会社二軒茶屋餅角屋本店（伊勢角屋麦酒）

自治体・金融機関の支援内容

- 公費による交付額：18,044千円
国費（地域経済循環創造事業交付金）：9,022千円
地方費：9,022千円
- 百五銀行による融資：18,086千円
- 【初期投資】インキュベーション・コワーキング施設等の施設改修費、備品費

地域への貢献

- 事業実施地は、2021年度末に閉校となった「旧・神社（かみやしろ）小学校。地域コミュニティの核であった同校を、再び地域交流の拠点へ。
- 地方の小都市である伊勢から、スタートアップを育てる。利用者同士の交流からイノベーションを生み出し、地域産業を強靱化。
- 酵母や発酵の知識を地元に戻元することに加えて、地元有力事業者であるため、地域に対して安定的にインキュベーション施設を提供。

(2) バイオ・フードテックを主とした、スタートアップ・起業支援と地域交流の拠点形成事業『未来を育む複合施設 神社Cheers (かみやしろチアーズ)』



ローカル10,000プロジェクト 三重県伊勢市 (3)「伊勢街道の古民家を活用したマイクロブルワリーによる、 クラフトビール製造と観光交流拠点整備事業」

事業背景

- 観光客の大半が日帰りの伊勢市は、局所的な交通渋滞の緩和と、宿泊客比率を高める滞在型観光の実現が大きな課題。このため、市内の飲食店等の活性化やリピート性を高める四季を通じた観光客の関心を集めるコンテンツの創出が必要。
- 外宮と内宮の中間地点、伊勢街道上にある「古市」はその要となる場所、かつて芝居小屋や鼓楼が立ち並び花街として栄えたが、今では行き交う観光客も少なく、空き家が点在する状況になっている。

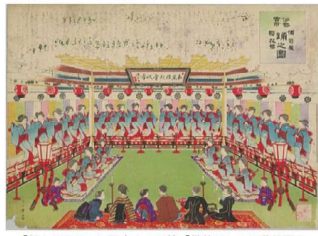
取組内容

- 伊勢・古市の古民家を改修し、クラフトビールの醸造所をつくる。タップルーム（試飲スペース、バー）を併設し、外宮・内宮の参拝者が立ち寄る観光交流拠点とする。
- 豊かで清らかな「古市の井戸水」と、地元の農産物を副原料として、土地に根差したクラフトビールに仕上げる。
- ビールを観光ルートに組み込み、車移動を中心とした通過型観光ではなく、歩くことを軸とした観光導線の再構築につなげ、滞在型観光による地域経済の活性化を図る。

伊勢音頭を楽しむ旅人

古民家ブルワリー例

直営店舗イメージ



「都をどり」の原型古市の熱狂「備前屋」の桜花樓踊り



京都市「スプリングバレー」ブルワリー京都



清造白河のシンプルな立ち飲み「BEER VISTA」

事業実施者

伊勢麦酒株式会社

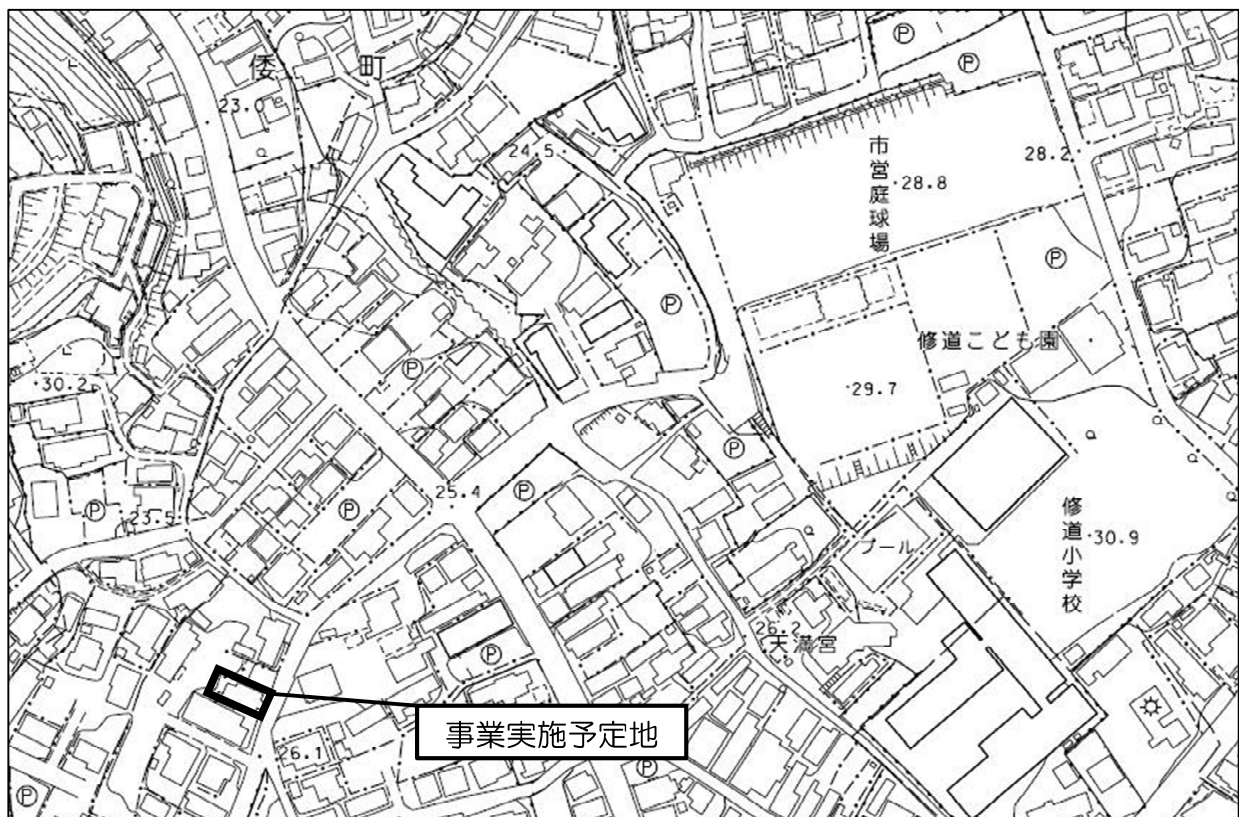
自治体・金融機関の支援内容

- 公費による交付額：35,000千円
国費（地域経済循環創造事業交付金）：17,500千円
地方費：17,500千円
- 百五銀行による融資：55,000千円
- 【初期投資】醸造所整備費、店舗備品費等

地域への貢献

- 多彩な副原料によって独自性を出すクラフトビールの特性を生かし、地元産品の魅力をビールに乗せて伝えることができる。
- 古市は外宮と内宮の中間に位置するため、両宮を歩いて参拝するルートにインバウンドを含む観光客を導くことができる。滞在型観光により、周辺の飲食店等にも経済波及効果が見込まれる。
- 観光案内等の機能に加え、創業間もない事業者が試験的に商品を展開し、観光客の反応を得ることのできる「実践型スタートアップ支援拠点」としての役割も果たす。

(3) 伊勢街道の古民家を活用したマイクロブルワリーによる、クラフトビール製造と 観光交流拠点整備事業



上下水道部庁舎の建設について

1 建設スケジュール

内 容	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	備 考
アスベスト等含有調査	➡				完了
解体工事設計	➡				完了
地質調査		➡			完了
建設工事設計		➡			完了
解体工事		➡			完了
庁舎建設工事			➡		完了
外構工事				➡	実施中
新事務所業務開始				➡	R8 年 1 月移転予定

2 現場の状況（R7 年 7 月）



事務所棟外観



倉庫棟外観



事務所棟ホール



事務所棟執務スペース



倉庫棟受援スペース兼会議室



倉庫棟水道資材庫

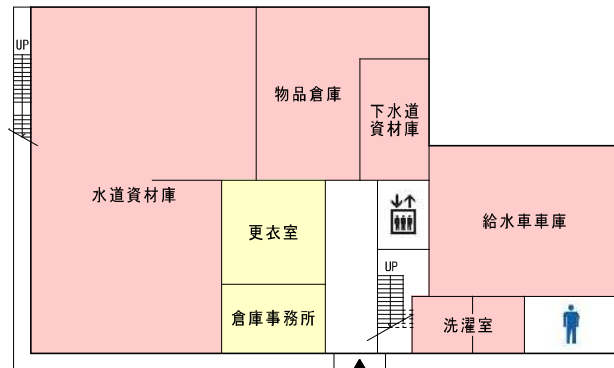


上下水道部庁舎全景

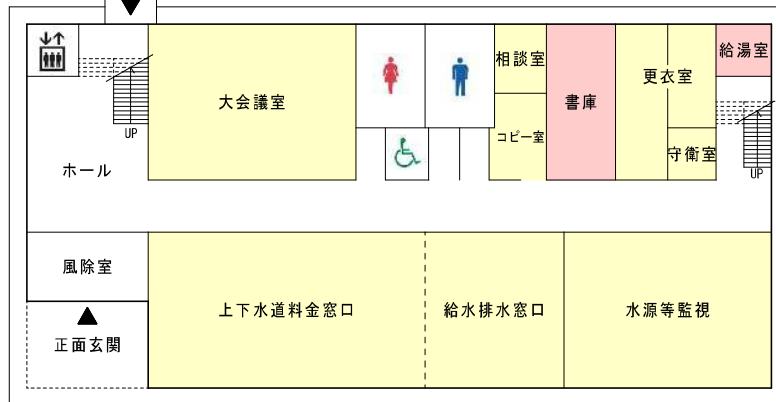


完成イメージ図

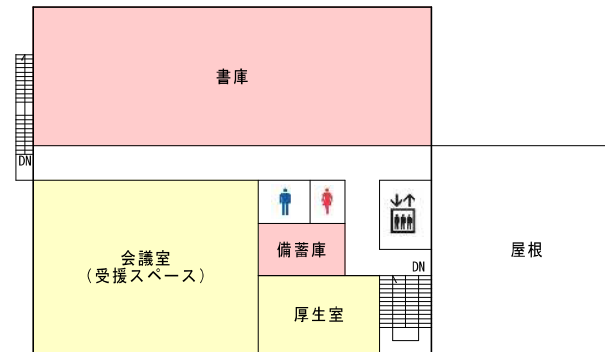
上下水道部庁舎 平面図



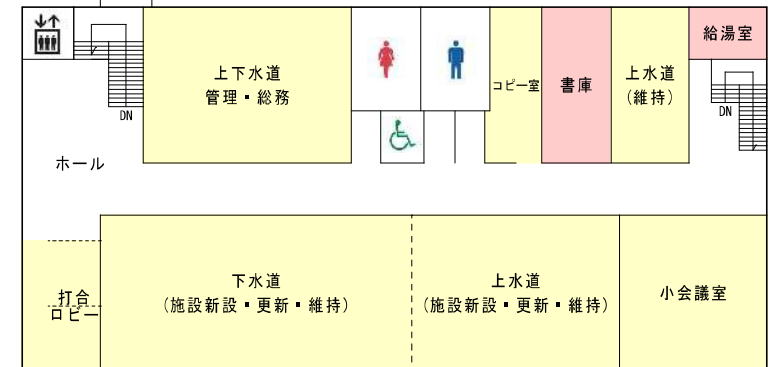
通路



1 階 平 面 図



屋根



2 階 平 面 図

3 完成式及び見学会について

開催日	式典等	時間	場所
令和 7 年 12 月 21 日(日)	完成式	10:00～11:00 (予定)	上下水道部 庁舎
	見学会	13:00～16:00 (予定)	

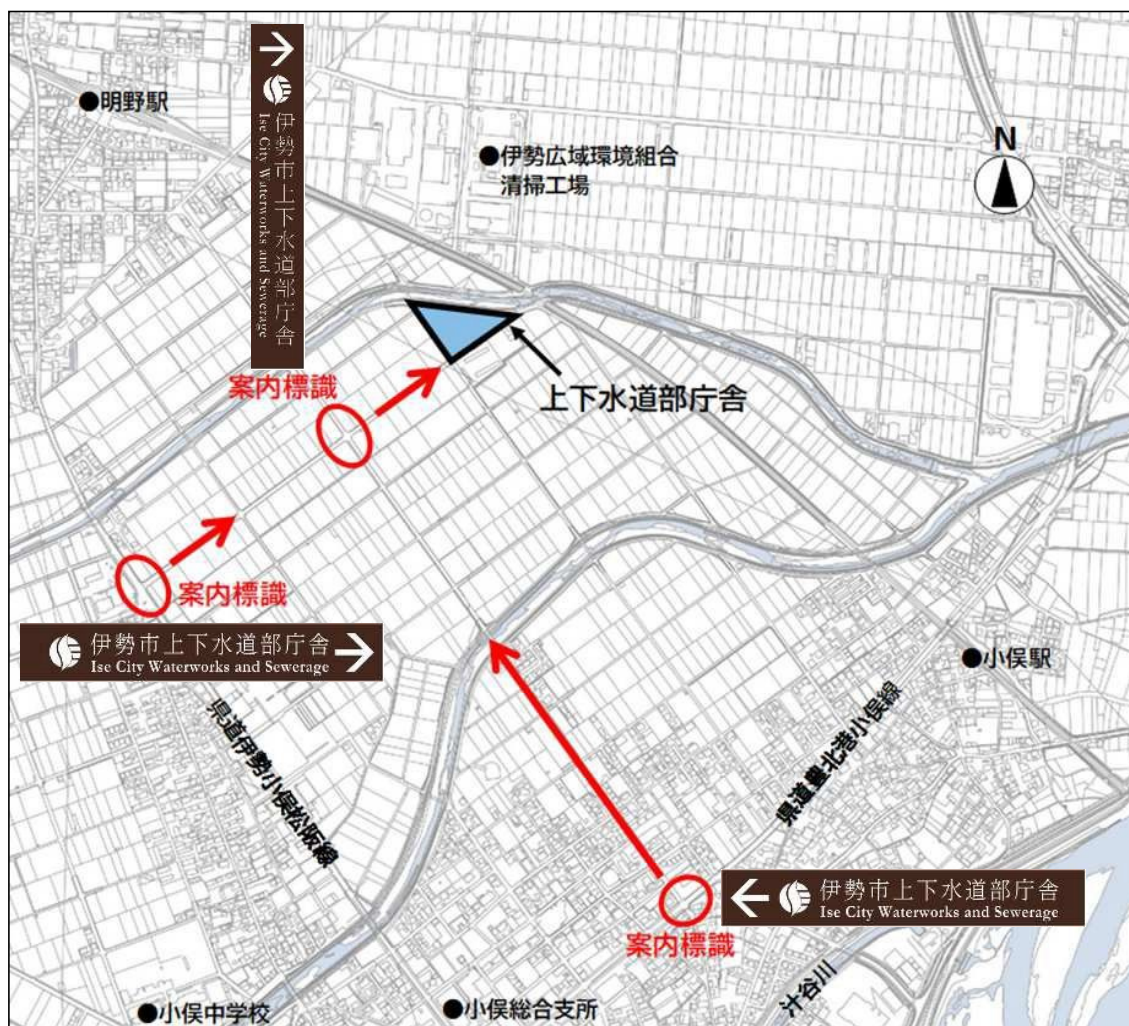
【参 考】

概算事業費及び財源

(単位：百万円)

項 目	金 額	内 訳		財 源
		水道	下水道	
事務所	951	513	438	・ 企業債(通常) 下水道事業は交付税措置有 ・ 企業債(脱炭素債)等 交付税措置有 ・ 一般財源(備品等)
資材倉庫・車庫等	263	198	65	
外構	85	52	33	
小俣浄化センター解体	368	—	368	
その他（備品等）	50	31	19	
合計	1,717	794	923	

上下水道部庁舎位置図及び経路



流域関連伊勢市公共下水道第 5 期事業計画の見直しについて

1 これまでの経過

令和 7 年 5 月 28 日

- ・流域関連伊勢市公共下水道第 5 期事業計画の見直しについて、産業建設委員協議会で協議。

令和 7 年 7 月 10 日

- ・流域関連伊勢市公共下水道第 5 期事業計画の見直しについて、上下水道事業審議会へ諮問、審議。

令和 7 年 7 月 17 日

- ・上下水道事業審議会から答申を受ける。（2 ページ写し参照）

2 今後の予定

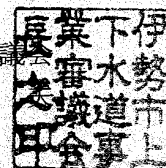
年	月	内 容
7	9	未着手区域の自治会へ結果及び方針を説明
8	2	市議会産業建設委員協議会〔下水道事業経営戦略の見直し〕（協議）
8	2	上下水道事業審議会〔下水道事業経営戦略の見直し〕（諮問・審議）
8	6	市議会産業建設委員協議会〔下水道事業経営戦略の見直し〕（報告）



令和7年7月17日

伊勢市長 鈴木 健 一 様

伊勢市上下水道事業審議会
会 長 木 本 凱



流域関連伊勢市公共下水道第5期事業計画の見直しについて（答申）

伊勢市附属機関条例第3条の規定により令和7年7月10日付7上第552号にて
諮問のあった流域関連伊勢市公共下水道第5期事業計画の見直しについて、当審議
会での審議の結果、下記のとおり答申します。

記

流域関連伊勢市公共下水道第5期事業計画の見直しについては、これを妥当と認
める。

